

2月15日(土)
14:00-16:00

奄美と喜界島のグスク

オンライン開催



Zoom Meeting

研究概要

【2024年度 沖縄大学共同研究班】

研究名：琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究

研究分野：歴史学・社会学・考古学

対象地域：琉球弧全般(奄美・沖縄・八重山)

研究内容：現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷(特に近世と近代)を考古学と歴史学と社会学の視点から明らかにする。

プログラム

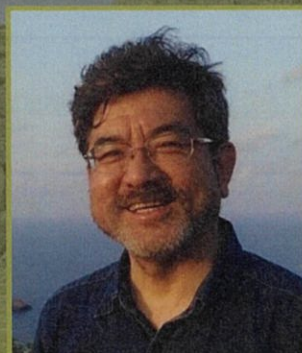
14:00-14:10 開会挨拶・研究メンバー紹介(宮城)

14:10-15:30 グスク調査報告

15:30-15:55 沖縄共同体の源流を考える(鼎談)

15:55-16:00 質疑応答・終了

2024年8月に行った奄美大島および喜界島のグスクと墓調査の報告を行う。奄美にもグスクが存在するが、その特徴とは何かを沖縄本島との比較で報告する。奄美・沖縄のグスク時代は現在の沖縄の村落および村落共同体に直接繋がると考えられる。その本質を考察する。



(司会)宮城 能彦 みやぎよしひこ
沖縄大学人文学部 とも文化学科
教授



武部 拓磨 たけべたくま
岡山県出身。琉球大学に進み、
琉球史を専攻。在学中に神職
資格取得。合同会社 T.R.F
(発掘会社) 代表社員、備前
国総社宮神主。



賀数 仁然 かかずひとし
那覇市出身。琉球・沖縄史研
究家、琉球・沖縄歴史文化研
究所 クボウグラnde 主催

「地域研究公開講座」について

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。

本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、全ての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする課題等について、皆様に分かりやすくご紹介させていただきます。今年度は全9班の地域研究公開講座を開催します。(裏面参照)

★視聴無料★ 2/12(水)までに要事前申込

申込先【Googleフォーム QRコード】

本学HPの「イベント」からもお申込みいただけます。
氏名・連絡先・所属等、必要事項を入力の上送信してください。
お申し込みされた方には、2/13(木)までに、申込受付メールを送信します。メールが届かない場合は、2/14日(金)14時までに沖縄大学地域研究所までお問い合わせください。

※ 講座終了後、アンケートの回答にご協力ください。
申込受付メールで 回答フォームURLをお送りします。



問い合わせ先：沖縄大学 地域研究所
住所：沖縄県那覇市国場405番地
沖縄大学アネックス共創館2階
窓口：平日8:30~17:15(12:00~13:00 閉室)
Tel:098-832-5599
Mail:chiken-staff@okinawa-u.ac.jp